



## 射水商工会議所報

新春懇親会(1月16日)  
挨拶する牧田会頭▶

新春講演会(1月16日)  
講演する北陸電力(株)  
久和進社長▼



### 2014年も地域発展に邁進 ～苦難の時こそ自分たちの力を信じて～

### Contents

2p

#### ●先月の事業Pickup● 地域発展へ決意新たに

～新年経済懇談会開催～  
県内経済4団体 新春互礼会  
射水市2014年新春懇談会  
射水市ふるさと物産協議会  
第4回消費税転嫁対策セミナー  
高岡・黒部商工会議所と懇談会  
主な今後の動き～イベント情報～

4p

●SERIES●  
高橋進の経済ナビ  
「アベノミクスの2年目に向けて  
一官需から民需へのバトンタッチが課題」  
言葉の力

5p

●SERIES●  
快進撃企業に学べ  
「人を幸せにする会社『中村ブレイス』」  
トレンド通信  
「自分だけで何とかしようとしていませんか？」

6p

●インフォメーション●  
金融関係  
決算・確定申告相談会を開催します  
富山県からのお知らせ  
射水市合同企業説明会  
中小企業海外展開支援セミナー  
高岡法人会からのお知らせ  
中小企業庁からのお知らせ

8p

●キラリしんみなど●  
有限会社 天然温泉 海王  
代表取締役 津幡 真一 氏

先月の事業 pickup

# 地域発展へ決意新たに

## ～新年経済懇談会開催～



▲ 第1部 新春講演会 (講師：北陸電力 久和社長)

1月16日(木)、新年経済懇談会を第一イン新湊で開催しました。第1部に北陸電力(株)取締役社長 久和進氏を迎え、「電気のいまとこれから」と題してご講演いただきました。講演で久和社長は、射水市内の富山新港火力発電所で計画するLNG(液化天然ガス)1号機について、今年の初秋に地盤改良など準備工事に着手し、来年春に本格着工するスケジュールを説明。その他、現在取り組まれている火力発電の整備計画や志賀原発の安全強化策について



▲ 第2部 新春懇親会 (祝辞：写真左より夏野市長、橋衆議院議員、野上国土交通副大臣)

紹介。聴講者からは、「電気事業やコストの現状が分かり勉強になった」等の声が聞かれました。

講演会終了後、第2部 新春懇親会を開催。夏野市長はじめ官公庁、国、県、市議会や関係機関、本所役員・議員など約130名が出席。はじめに、牧田会頭が「消費税増税も控え、状況がどう転じるかは分からない。以前『疾風に勁草を知る』という言葉をいただいたが、困難の時こそ自分たちの力を信じ、地域発展に向け全力を尽くす」と挨拶。引き続き、夏野市長、橋衆議院議員、野上国土交通副大臣より祝辞を賜り、奈田市議会議長の発声で乾杯し懇親に移りました。終始和やかな雰囲気の中、四方県議の主唱で万歳三唱を行い、地域の発展に向けて決意を新たに閉会しました。

### 1/6 新幹線開業の経済効果 県内経済4団体 新春互礼会

富山県商工会議所連合会と県商工会連合会、県経営者協会、県中小企業団体中央会の4経済団体が富山市内のホテルに集い、今回で4回目となる「新春互礼会」が開催されました。各団体より約410名が参加し、本所からは牧田会頭、伊藤・加治・米田副会頭、米本専務理事の5名が出席。アベノミクスの地方波及効果や、北陸新幹線開業の経済効果などによって、富山県にさらなる好循環をもたらすことを期待する声が相次ぎました。

### 1/7 市の発展に力を合わせ 射水市 2014年新春懇談会

市、市議会、商工会議所等市内6団体による「2014年新春懇談会」が第一イン新湊で開催され、本所より正副会頭を始め、役員・議員51名が参加しました。昨年、夏野市長を発起人に市や市議会の呼び掛けで企画され、今回で2回目となります。当日は、総勢158名の参加があり、和やかな懇談の中、各団体とのより一層強い連携を確認し合いました。

### 1/10 ふるさと祭り東京2014 射水市ふるさと物産協議会

1月10日(金)～19日(日)の10日間、東京ドームを会場に「ふるさと祭り東京～日本のまつり・故郷の味～」が開催され、射水市ふるさと物産協議会が出展し、全国各地からの「自慢の逸品」の中で競い合い、射水市をPRしました。北陸新幹線開業を間近に控え、射水市の魅力に関東圏に売り込む絶好の機会となりました。

### 1/22 射水市技能勤労者表彰

アイザック小杉文化ホールで平成25年度技能勤労者表彰式が行われ、永く同一の職業に従事し他の模範となる14名の方に夏野市長より表彰状が手渡されました。

(敬称略)

大工職	棚田 誠	美容職	横堀 貴美子
	小竹 勝男		水田 佐代子
左官職	松 洋文	理容職	橋本 忠一
配管職	倉田 昭一		米谷 千津子
造園職	竹田 武邦	和裁職	朽木 京子
電気工事職	高畑 文夫	自動車整備職	石川 健治
美容職	井波 春美	はり、きゅう、あんま職	井波 潔

# 1/22 第4回消費税転嫁対策セミナー開催

▶講師の姫野税理士  
(写真左上)



平成26年4月、27年10月と二段階で引き上げられる消費税増税に向け、消費税転嫁対策セミナーを実施。第4回は、税理士の姫野拓雄氏を講師に迎え、「消費税増税に関する注意事項と準備のポイント」と題してご講演いただきました。間近に迫る増税に向け、受講者は真剣に聞き入っていました。昨年11月から実施してきた本セミナーは今回で終了となりますが、引き続き増税に向けた各種支援サービスを行っていきますので、お気軽に本所までご相談下さい。

## 23期 新部会体制が本格始動！

23期より旧10部会を再編し、新たに11部会として部会活動がスタートしました。各業種・業態により焦点を合わせるため、国や県への提言・要望活動を含め様々な活動に部会が中心となり取り組んでいきます。

まずは、部会活動を軌道にのせるため、各部会メンバーが集まり今後の運営方法について協議を行いました。

~~~~~ 最近の部会活動 ~~~~~

- 1/9(木) 製造部会            1/26(日) 医療福祉部会
- 1/15(水) 建設部会        1/28(火) 専門技術部会
- 1/16(木) 事業関連部会   2/3(月) 運輸通信部会
- 1/24(金) 卸小売部会      2/4(火) 生活関連部会

## 新体制プロジェクトも始動



23期より新たに設置された3つのプロジェクトチーム「庁舎跡地活用」「魅力発信」「活気創造」も、テーマ別に分科会に分かれるなど、精力的に活動しています。写真は、第2回庁舎跡地活用プロジェクト会議において、講師に(株)日本政策投資銀行 山崎所長様を迎え新湊庁舎跡地利活用についてご説明いただきました。

# 1/30 高岡・黒部商工会議所と懇談会開催

本所と高岡・黒部商工会議所との役員懇談会を割烹かわぐちで開催。今後も交流を深め、互いに切磋琢磨し、様々な地域振興活動での連携を誓いました。



## 予定

## 主な今後の動き イベント情報

| ＜会議所＞ 主な今後の動き                                         |                                                           |
|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 2/1 土                                                 | 「北方領土の日」記念事業                                              |
| 2/2 日                                                 | 本所職員採用試験第一次選考<br>東京新湊会「新春の集い」<br>射水市公募提案型及び地域提案型市民協働事業審査会 |
| 2/4 火                                                 | 生活関連部会「運営会議」                                              |
| 2/6 木                                                 | 射水産学官交流会                                                  |
| 2/8 土                                                 | 近畿いみず会総会<br>新湊めでた保存会北日本新聞「地域社会賞」受賞記念祝賀会                   |
| 2/9 日                                                 | 珠算・暗算能力検定試験、段位認定試験                                        |
| 2/13 木                                                | 正副会頭会議<br>本所職員採用試験第二次選考、採用者選考会                            |
| 2/15 土                                                | 富山県商工会議所青年部連合会「臨時総会・会員大会懇親会」                              |
| 2/16 日                                                | 本所女性会新年会・視察研修会(17日まで)                                     |
| 2/18 火                                                | 射水市都市計画審議会<br>富山県発明協会「特許等取得活用支援事業連携会議」                    |
| 2/19 水                                                | 射水市雇用対策推進協議会「射水市合同企業説明会」                                  |
| 2/21 金                                                | 日商青年部全国大会とちぎ宇都宮大会(22日まで)                                  |
| 2/22 土                                                | 和田朝子舞踊研究所の北日本新聞文化賞受賞及び和田朝子様叙勲受章記念祝                        |
| 2/23 日                                                | 簿記検定試験<br>射水・千曲両市のBリーグ観戦交流事業                              |
| 2/24 月                                                | 小規模事業者経営改善資金審査会                                           |
| 2/26 水                                                | 射水市行財政改革推進会議<br>食彩いみずイタリアーナ食事会                            |
| 2/27 木                                                | 射水圏政経懇話会全体例会(講演会)                                         |
| ＜新湊地区＞ イベント情報                                         |                                                           |
| ■新湊アイシン軽金属スポーツセンター■<br>問合せ先：新湊カモンスポーツクラブ(TEL 82-8277) |                                                           |
| 2/1 土                                                 | Vプレミアリーグ(女子バレーボール)<br>(2日まで)                              |

注) 上記は予定であり、都合により変更になる場合もございますのでご容赦ください。

# 高橋の経済ナビ 進

## アベノミクスの2年目に向けて

### —官需から民需へのバトンタッチが課題—

安倍政権が誕生して1年が経過した。この間、わが国の景気は2012年末を底に回復に転じ、13年前半は輸出や消費が勢いを取り戻した。足元では両者の勢いはやや鈍っているものの、震災復興や緊急経済対策などによる公共投資が景気を押し上げている。企業部門でも収益が回復したことから、企業の景況感や投資意欲が前向きになり、ようやく自律回復に向けた動きが始まっている。

今後を展望すると、景気は、2度にわたる消費税の引き上げによる下押しが懸念されるものの、経済対策が下支えすることから、回復基調は維持できるとみられる。ただし、景気を押し上げている官公需の勢いは徐々に弱まると見込まれる。したがって、回復を持続させるためには、公共投資などの政策主導によるものから、企業収益や設備投資の改善、賃金の上昇といった民間による自律的な回復に移行できるかがカギとなる。

そこで、この起点となる企業部門を取り巻く環境をみると、まず収益は円安を通じた採算の改善などを背景に回復傾向が続くと見込まれる。さらに、これまで企業は設備投資に慎重なスタンスをとり続けてきたが、設備の過剰感が薄らぎ、老朽化も顕著なことなどから、設備を更新するための投資は大幅増加が予想される状況である。

企業部門のプラス効果は、家計にも波及することが予測される。景気回復とともに人手不足感が強まり、雇用者数の増が予想されることに加え、生産活動が拡大することから、時間外手当やボーナスの増加が見込まれる。このような中、政府は政労使の3者協議を通じて大企業を中心に賃上げを要請しており、こうした動きが広がっていくことが期待される。

このように企業部門のプラス効果が、設備投資や所得の増加といった自律回復のメカニズムを作用させるものの、その勢いは力強いとは言い難い状況である。既存設備の稼働率は依然低水準であり、能力増強を目的とした新規の投資が設備投資全体をけん引するにはまだ時間がかかるとみられる。所得環境については、失業率は低下しているものの、求人側と求職者側にかなり大きなミスマッチが存在しており、これが雇用者数の増加を抑制する要因になっている。また、賃金面でも人

手不足が賃金の上昇に結び付きにくくなっている。

したがって、力強い自律回復のメカニズムを実現させるためには、企業の成長期待が高まり、企業が持続的な回復を確信することが不可欠である。この期待は景気回復が持続することで1年程度かけて醸成されるものであり、政府の成長戦略が緒に就いたばかりの現段階では、その効果は限定的なものにとどまると見込まれる。言い換えれば、アベノミクスは企業や家計のマインドを大きく変え、景気を押し上げてきたが、企業はまだ持続的な回復を確信するには至っていない。

とすれば、2年目のアベノミクスの課題は明らかである。これまでに打ち出した成長戦略を着実に実行していくとともに、積み残された課題である法人税の減税や規制改革などに本格的に取り組むことで、企業の成長期待に働き掛けていくことである。他方、家計への所得分配を促進していくことも不可欠であり、政労使の3者協議などを通じて、雇用改革や雇用のミスマッチ解消などに向けて、さらなる改革に踏み込んでいくべきである。加えて、アベノミクスの恩恵は大都市や大企業が先行しているとの指摘もあり、地方や中小企業までプラス効果を波及させるためのきめ細やかな支援策も必要である。

日本総合研究所

理事長 高橋 進

## 言葉の力



いくら強い人間でも、ひどい環境にいれば、弱音を吐くし、愚痴も出やすくなる。

つまり、性格を変えようとするのではなく、

よい気が流れる環境に身を置いたり、

そういう環境づくりをしていく方が効率的だと思います。

書道家 武田 双雲



## 「人を幸せにする会社 『中村ブレイス』」

先般、筆者が顧問を務める「神田経営者クラブ」(中小企業経営者の異業種交流会)のメンバー約20人と一緒に、島根県大田市大森町に行ってきた。大森町といっても読者の多くはなじみがないと思われるが、出雲空港から西へ1時間半ほど車で走った所にあるまちである。より分かりやすく言えば、世界遺産に登録された「石見銀山」の麓にある、人口約400の小さな山間のまちである。

なぜ、こんなにも交通が不便な中山間地域の小さな小さな過疎のまちをわざわざ訪ねたかということ、ここに「人、とりわけ困っている人を幸せにしたい」という理念を高らかに掲げ、日本中いや世界中から顧客や入社希望者が殺到する「いい中小企業」があり、こうした頑張る企業の存在を中小企業経営者に頭ではなく、自分の目と体で知ってほしかったからである。

その会社は「中村ブレイス株式会社」といい、主事業は義肢・装具の製造、より具体的に言えば、生まれつきの障がいや、病氣・ケガ・事故などで、手や足、あるいは指・耳・鼻・顎・乳房など体の一部を失ってしまった人に、それを一品一品、全て手づくりで提

供している企業である。

創業は今から約40年前、アメリカで義肢・装具の製作を学んだ現社長の中村俊郎さんが帰国し、廃れ行く生まれ故郷を何とか再生したいと、あえて大森町に戻り、たった一人で始めた会社である。創業当初こそ、認知度はもとより、市場も熟しておらず苦労の連続であったが、「困っている人々を助けてあげたい」とめげずに価値ある商品づくりの努力を続け、今やこの分野では知る人ぞ知る中堅企業にまで成長発展している。

当日は中村さんから、弱き人々に対する強い思いと、国内外で取り組んでいる数々の社会貢献活動などのエピソードを聞き、一同涙した後、同社の「メディカルアート研究所」と呼ばれる、まるで自宅のような温もりのある素敵な工房を見学させていただいた。

そこでは、若い社員が手間暇のかかる実に面倒な作業を、手元に置いた患者さんの写真や名前を見ながら黙々としていた。指をつくっていた素敵な女性社員に仕事の苦労や感想を聞くと、「一日も早く素敵な指をつくって患者さんに喜んでほしい」「患者さんからのお礼の手紙を読むと、もっといい仕事をせねばと励まされます」と、仕事に対する使命感や充実感に満ち満ちた顔で答えてくれた。

そこには、会社の業績や経営の効果・効率を飛躍的に高めようなどといった、会社の側に立っての言動は一切なく、ただただ「困っている顧客(患者)を喜ばせたい、幸せにしたい」といった態度であった。

こうした企業が多数派になれば、わが国は世界の人人々から尊敬されるようになるだろう。

法政大学大学院政策創造研究科  
教授 坂本 光司



## 「自分だけで何とかしようと していませんか？」

「お互いに仲が悪いんですよ」。全国各地のものづくりをしている方を訪ねると、よく耳にするのがこの言葉です。地域の同業者同士のこともあれば、若い世代と上の世代との場合もあります。そう聞くといつも「もったいない」と思います。

不景気や生産拠点の海外移転、人口の減少による市場縮小などが始まると、どうしても「うまくやるところ」とそうでないところが出てきます。また、地域でもものづくりをしている方には、職人気質で「一国一城の主」という意識が強い中小企業の経営者が多いことも事実だと思います。そうしたことが、お互いの「仲の悪さ」の原因になっているのでしょうか。

これまでそうだとしても、問題はこれからです。いろいろと地域でつくったものを見せてもらっている、「もっと別の地域が持っている素材や技術と組み合わせたら面白いのに」と思うことがよくあります。例えば、ある地域に特有の素材を使ったバッグをつくっているところは全国にいくつもあります。その素材は革や織物、木材などで、加工技術も含めてとてもユニークだったりします。ところが、出来上がった

バッグを商品としてみると、あまりに競争力が足りないケースが多いのです。百貨店の店頭には、国産、輸入品、有名ブランド含め数多くのバッグが売られています。これらと比較して選んでもらうためには、使われている素材の特徴だけでは不十分です。全体の寸法に始まって取っ手の形状や付け方、フタの有無や中の間仕切りのつくり方など、機能面でも消費者のニーズに合っていないければなりません。さらにその先にデザインの良さやブランドなどがあるので

す。地域で開発されているものには、こうした細部まで詰め切れたものは多くありません。地域発の名品として長く愛されていくためには、買ってくれた人が満足するだけではダメです。リピーターになってくれるのはもちろん、その人が周りに薦めたりうらやましがられたりするくらい「良いモノ」でないと広がっていかないのです。

ではどうすればいいのでしょうか。「自分たちにはないもの」を持っているところと協力しあうことが一つの突破口だと思います。各地の商工会議所がハブになって異業種を組み合わせ商品開発を行っている事例も多々あります。そのとき大切なのは、組む目的です。「よりユニークなものをつくる」という方向よりも「ユーザーが求めている弱点を克服する」ことをまず押さえた方がよいと思います。事業者同士が仲が悪い地域は長期的に見て地盤沈下するでしょう。お互いの力を借りながらそれぞれが主役としてユーザーの満足を目指すという視点で、一度、自社商品を見直してみてもいいかがでしょうか。

日経BPヒット総合研究所 上席研究員  
渡辺 和博

## インフォメーション

## 金融関係

## 主な公的融資制度の利率

(平成26年2月1日現在)

| 資金名                  | 利率(年)                                |
|----------------------|--------------------------------------|
| 日本政策金融公庫<br>(国民生活事業) | マル経融資<br>1.60%<br>普通貸付<br>1.45~3.65% |
| 富山県                  | 小口事業資金<br>2.00%                      |
| 射水市                  | 中小企業振興資金<br>2.00%                    |

日本政策金融公庫  
定例相談会

| アドバイザー等                                                                | 開催日時                    |
|------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 高岡支店国民生活事業<br>・小口の事業資金融資<br>・創業支援・地域活性化支援<br>・国の教育ローン、恩給・共済年金等を担保とする融資 | 2月18日(火)<br>13:00~15:00 |
| 富山支店中小企業事業<br>・中小企業への長期事業資金の融資<br>・国の中小企業政策に基づいた支援                     | 3月27日(木)<br>13:00~15:00 |

相談会場 射水商工会議所1階相談室

■ご利用の方は、相談所まで事前にご予約下さい。TEL 84-5110

## 決算・確定申告

決算・確定申告  
相談会を開催します

確定申告の提出期限は・・・

【所得税及び復興特別所得税】

平成26年3月17日(月)

【消費税及び地方消費税】

平成26年3月31日(月)

本所では、下記の日程で『決算・確定申告相談会』を行います。相談料は無料ですので、お気軽にご利用下さい。

★事前にご予約下さい。(TEL 84-5110)★

## 公認会計士・税理士による相談日程

※ 相談時間は、午後1:00~4:00まで

※ 1事業所につき30分以内です

|         |     |         |     |
|---------|-----|---------|-----|
| 2/20(木) | 高 桑 | 3/6(木)  | 荒 谷 |
| 2/21(金) | 姫 野 | 3/12(水) | 中 野 |
| 2/28(金) | 加 治 | 3/13(木) | 穴 田 |
| 3/4(火)  | 北山勲 | 3/14(金) | 福 田 |
| 3/5(水)  | 北山剛 |         |     |

場所：射水商工会議所1階相談室

## 本所相談員による確定申告・記帳指導

|     |                                                |
|-----|------------------------------------------------|
| 日 時 | 2/17(金)~3/17(月)<br>午前9:00~午後4:30まで<br>(土日祝日除く) |
| 場 所 | 射水商工会議所1階相談室                                   |
| 相談員 | 本所経営指導員・記帳専任職員                                 |

■主催 射水商工会議所中小企業相談所■

## ~富山県からのお知らせ~

## 平成25年度 ワーク・ライフ・バランス研修会

中小企業の管理職、人事労務担当者みなさまに優秀な人材の確保、育成、定着を図るためにワーク・ライフ・バランスについての理解を深めていただくため研修会を開催！ぜひご参加ください！

日 時 平成26年2月21日(金) 14:00~15:30

場 所 富山県民会館401号室(富山市総曲輪4-18) TEL076-432-3111

対 象 県内企業の管理職、人事労務担当者等

講 師 寺西 知也 氏(株)wiwiw 普及推進部 課長代理・社会福祉士)

演 題 『社員の「仕事」と「介護」の両立の秘訣~企業としてどう支援していくか~』

申込・問合せ先【申込締切：2月14日(金)】

富山県商工労働部労働雇用課 TEL076-444-3257 FAX076-444-4405

## 射水市合同企業説明会 平成27年3月新卒者対象

地元で就職を考えている方は是非ご参加下さい。射水市内の企業、約20社の説明を直接聞けるチャンスです！

■日時 平成26年2月19日(水)  
13:30～16:00(13:00受付開始)

■場所 高周波文化ホール 1階展示室

■対象者 平成27年3月卒業予定の大学院、大学、短大、高専・専門学校の学生等

■参加費 無料

■参加企業

1月7日(火)より射水市雇用対策推進協議会ホームページで随時公表します。

URL<http://www.imizucci.jp/kigyou/>

■申込方法

当日の受付混雑を避けるため、次のいずれかの方法により事前申込をお願いします。(1月7日(火)より受付開始。事前申込みがなくても来場可能です。)

①ホームページから申込する。

URL<http://www.3ibac.co.jp/2015/imizu/login.jsp>

②FAX(84-5245)で申込する。

申込用紙は射水市雇用対策推進協議会ホームページからダウンロードできます。

■問合せ先

射水市雇用対策推進協議会事務局(射水商工会議所内)TEL84-5110 / FAX84-5245

## JICA/ジェトロ/中小機構

### 中小企業海外展開 支援セミナー

■日時 平成26年2月20日(木)  
13:30～17:30

■場所 富山県総合情報センター1F  
セミナー室A～C(富山市高田527)

■概要 海外事業展開を目指す富山県内および北陸地域の中小企業の皆さまに、JICA、ジェトロ、中小機構の各種支援制度をご紹介します。

■定員50名・参加無料(予約優先・先着順)

■申込・問合せ先

JICA 北陸 民間セクター開発担当

TEL 076-233-5931 FAX 076-233-5959

## 公益社団法人 高岡法人会

### 税経セミナー

■日時 平成26年3月13日(木)  
14:00～15:30

■場所 高岡商工ビル 4F研修室

■講師 経営コンサルタント・ファイブ・コンサルティング代表  
五十嵐 博一 氏

■演題 「東日本大震災から学ぶ  
中小企業の企業防衛」

■入場無料

(事前に電話にて申込みをお願いします)

■申込・問合せ先

公益社団法人高岡法人会

TEL 23-8855 FAX 26-1216

### ～中小企業庁からのお知らせ～

平成25年度補正予算案・平成26年度予算案・税制改正案

### 中小企業・小規模事業者 対策のポイント

- ◎ ものづくり・商業・サービス業  
がんばる商店街を支援します
- ◎ 消費税率引き上げに伴う対策の  
相談に応じます
- ◎ 小規模事業者・創業を目指す方や  
販路開拓を応援します
- ◎ 資金繰り・事業再生を支援します
- ◎ 税制改正で事業活動を後押しします

詳しい情報は、中小企業庁ホームページや中小企業庁が委託して運営するポータルサイト「ミラサポ」でご覧いただけます。

ミラサポ

検

索

### 地元消費で、 街を元気にしよう!

～楽しいお買い物は地元の商店で～

地域の皆様に、地元新湊の商品・生産品が愛用され、育てていただくことが、豊かな地域づくりの根源です。



このコーナーでは、世界で活躍する企業、オリジナル商品がすごい企業などキラリと輝く射水市のがんばる企業をご紹介します。

第22回は、(有)天然温泉 海王です。寒さ厳しい日が続きますが、こんなときは体の芯まで温まる温泉が恋しくなりますね。近年、スーパー銭湯や日帰り温泉の出現など、各種温泉施設は過去20年で倍増していると言われています。「どこでも同じ」と厳しい声の聞かれる中、海王は辛口温泉ライターで知られる飯出敏夫氏に「正真正銘の源泉かけ流し、本物の温泉であり、この温泉に対する館主の見識と姿勢は見事」と絶賛され、全国各地に多くのファンがいる人気の温泉です。その魅力を探るべく、代表取締役であり温泉ソムリエマスターでもある津幡真一氏にお話を伺いました。

## こだわりの「本物の湯」

### ..... Q & A .....

#### Q. 創業時の事業イメージは？

**A.** 元々、祖父が高岡市内で銭湯「つばた湯」を営んでおり、風呂屋としては3代目。イルミネーションと無料の足湯、この2つを必ずやると決めていた。周囲からは「なんでやるの？」と猛反対を受けたが、理由は自分が好きだから、やらない理由はないと思った。創業時からずっと変わらないのは、どうすればお客様が喜んでくれるかを考えること。それを常にイメージし、できることは全てやる。失敗することよりも、チャレンジしないことの方がもったいない。

#### Q. モットーは？

**A.** 海王は日帰り温泉の中では小型だが、十分な湧出量を誇り、全国ではめずらしい『加温・加水いっさいなしの正真正銘100%天然の湯』をご提供している。源泉かけ流し100%だからこそ、温泉成分が濃く効能も大きい。浴槽の湯は毎朝全て新しい湯に入れ替え、お湯はいつも新鮮。“本物の湯”をご提供していることを自信と誇りに、これからも様々な形で発信していく。

#### Q. 苦労したこと

**A.** 湧き上がったばかりの源泉100%の湯をそのままかけ流しているため、毎日色と温度が違う。そのため、開業から2年は、どれだけ理由を説明しても、お客様に納得していただかず、クレームの嵐だった。80kg台あった体重も60kg台になるほどこの2年は苦しく、心が折れそうになったが、そんな中で温泉ソムリエの資格を取り全国とのネットワークができたことや、自分のやってきたことを認めてくれ、相談にのってくれる人が現れたことが今につながっている。

### ..... インタビューを終えて .....

様々なイベント企画に、スタッフとの朝礼・夕礼・深夜礼、各所からの講演依頼やボランティア活動など、津幡社長のスケジュールは“超”過密です。その原動力を伺うと「自分にはこれしかないから」と謙遜されます。温泉業界は他のサービス業とは少し違った苦情が多いため事業者の中には心が折れてしまう方も多いためです。そんな中で、決して諦めず、寝る間を惜しんで勉強し、お客様に楽しく“本物のお湯”を体感してもらう仕組み作りを迫り続けている津幡社長の信念は、湧き出るお湯と同じく『射水の宝』だと思いました。テレビの時代劇にでていた小判を見て思いついた「キラキラ小判ゆ」にはおもちゃの小判がなんと5,000枚！今では全国各地で行われ大人気のイベントです。単純明快な発想で私たちの感性をくすぐり、楽しませてくれる天然温泉 海王。次はどんな仕掛けで楽しませてくれるのか、これから目が離せません。



津幡社長の名刺。温泉への熱い情熱が伝わってきます。

### 会社概要

**社名**  
有限会社 天然温泉 海王

**住所**  
射水市鏡宮361

**設立**  
平成17年6月

**代表者**  
代表取締役 津幡 真一

**事業内容**  
公衆浴場業  
■加温・加水一切なし、正真正銘100%天然の湯

### 天然温泉 海王 2月のイベント情報

☆バレンタインデー企画「こげ茶の日」  
こげ茶色の物を身につけてくると何かいいことが♪

☆フルーツ・野菜を使った本物風呂の日  
「ギネス認定世界一大きい桜島大根」

他にも「キラキラ小判ゆ」「あひるゆ(お風呂におもちゃのあひるがいっぱい)」など何度来てもお楽しみ頂けるよう、季節に合わせたバラエティ豊かなお湯が登場します。

**掲載企業募集中** 射水商工会議所 東海まで (TEL 84-5110)